

高校県大会

# ラグビー 郡山北工初の花園

# サッカー 尚志連覇 7度目V



ラグビー決勝で平工を14-0で下して初の花園出場を決め、喜びを爆発させる郡山北工ファイフティーン



サッカー決勝でPK戦の末に2年連続の全国選手権出場を決め、駆け出す尚志イレブン

第六十一回県高校ラグビー兼第九十五回全国高校ラグビー県大会の決勝は七日、いわき市のいわきグリーンフィールドで行われ、郡山北工が平工を14-0で下し、初の花園出場を決めた。第九十四回全国高校サッカー選手権県大会二次大会の決勝も同日、郡山市西部サッカー場で行われ、尚志が学法石川を1-0からのPK戦で破り、二年連続七度目となる全国選手権出場の切符を手にした。

(18・19・26・27面に関連記事)

## ラグビー

郡山北工は昨年まで五年続けて準決勝で敗れていた。一日に第四シード警城を破り初の決勝進出を決めると、縦への突破力を武器としたラグビーで頂点に立った。

前半十三分、センター吉成春人主将(三年)がゴール前のラックからボールを持ち出してトライを決めた。コンバッションキックも成功して7点を先制した。その後は一進一退の攻防が続き、前半を7-0で折り返した。

後半も両校が粘り強い守備を見せ、無得点のまま時間が過ぎた。試合終了間際の後半三十分、郡山北工はゴール前のラックからプロップ波場隆之介選手(三年)がトライ。試合を決定付ける追加点を挙げた。

## サッカー

連覇を狙った尚志は攻撃陣の突破力を生かし、優勢に試合を進めた。初優勝を目指す学法石川の二倍に当たる十八本のシュートを放った。

尚志は前半十六分にFW柳原隆二選手(三年)のシュートで先制した。学法石川は同三十分、FW安部光留選手(二年)がゴールを決めて追い付いた。両校とも後半、延長戦は勝ち越し点を奪えず、PK戦にもつれ込んだ。先攻の尚志はキッカー五人がいずれも成功し、GK石塚

# 福島民報

2015 (平成27) 年  
11月8日  
日曜日

発行所  
福島民報社  
福島市太田町13-17  
(郵便番号960-8602)  
電話代表 (024) 531-4111  
編集局531-4122 広告局531-4153  
事業局531-4173 販売局531-4175  
購読のお申し込み  
0120-373437



ひやおろし

特別純米酒 720ml

花春

### きょうのニュース

中台首脳初会談、平和発展確認 6  
浅田がフィギュアGP復帰戦V 16  
東芝が歴代3社長ら5人提訴... 27

ほんごう ニュース

別刷り ページ 4

結果のきょう

バスケットボールリーグ  
ファイヤーボンズ 71-81 青 森

記事17面

### あすの朝刊は休みます

きょう8日(日)は新聞製作を休みますので、あす9日(月)付の朝刊は休ませていただきます。ご了承ください。

ニュースは福島民報ホームページ、福島民報の携帯サイト、ラジオ福島の「福島民報ニュース」をご利用ください。

福島民報社

# 尚志 県高校サッカーV

# イレブンたくましく

# 地

# 力

最後のPKを決めた小野選手(右手前)を囲み、勝利を喜ぶ尚志イレブン



# PK、連覇の重圧克服

した選手よりも個を上回る組織力を徹底的に鍛え抜いた。個人の判断で行う午前七時からの朝練習に、今年は今季が参加。回数も昨年までの週二回から週四回に増やした。仲村浩二監督(四三)は「今年のチームは練習量ではどこにも負けない」と胸を張る。

## 全校応援背に健闘

石川 GKの古川選手 好守を連発

初めて臨んだ選手権県大会決勝で死力を尽くした学法石川に場内から温かい拍手が送られた。「全力を出し切ってくれた」。稲田正信監督(三三)は百分間走り続けたイレブンをねぎらった。

郡山市西部サッカー場で七日に行われた全国高校サッカー選手権県大会二次大会の決勝。尚志と学法石川による決勝は延長戦からPK戦にもつれた末、尚志に軍配が上がった。

緊迫したPK戦。4-3のリードで迎えた尚志の五人目・FW小野寛之選手(三年)が連続の全国大会切符をつかみ、選手の顔には達成感が広がった。

先制しながらも、PK戦まで持ち込まれる苦しい展開だった。重圧のかかる場面でも豊富な経験と練習量を積

んだチームに焦りはなかった。学法石川が一人失敗したのに対して五人全員がシュートを成功させ、栄冠を手繰り寄せた。



スタンドの応援団の激励を受ける学法石川イレブン

た。最後尾で好守を連発したGK古川雅弥選手(三年)は「全員が体を張ってくれた」と総力戦の成果を強調し、前半に追いつくと、後半、延長戦も真っ向勝負を闘った。学校もサッカーでは初となる「全校応援」を敢行した。部員やOB、教職員、生徒約五百五十人を含む約七百十人が応援席を紫に染め、MF渡辺伸主将(三年)は「戦いやすい雰囲気をつくってくれた」と感謝した。

18歳

大人になる君へ

週間ニュースヘッドライン

来夏の参院選投票へ向け

激闘には敗れたが、創部二十年の節目に、準優勝という確かな足跡を刻んだイレブンへの惜しみない拍手が鳴りやまなかった。

